

防災教育課だより

静岡県立吉田特別支援学校
令和5年度 第2号
7月21日発行

【風水害避難訓練】

6月26日(月)10時から風水害を想定した訓練を全校で行いました。雨音の放送から始まり「雨と風が強くなってきました。ただいま湯日川の増水が考えられます。児童生徒職員は安全を確保するために上階へ避難してください。」という放送が入ると、児童生徒たちはしっかり聞いていました。そして教員の指示に従って各学年、グループまとまって上階に避難することができました。また高等部においては、作業棟からの避難は初めての試みで、避難経路を確認する機会にもなりました。風水害を想定した訓練は昨年度から実施され2年目になりますが、大きな混乱なく落ち着いて行動することができました。

避難後、荷物を上階に上げる必要があるためスペースの工夫、学年間で協力すれば児童生徒把握以外の役割で動ける教員も確保できるなど、課題も見えてきました。

事後学習で自宅近くや通学途中の川の名前を知らない生徒もいたので、ぜひ御家庭でも話題にしてみてください。



大雨・洪水・暴風
ゲリラ豪雨

台風

雷

竜巻

河川の氾濫 洪水

土砂災害

立地の特性を知り 情報を集め 早めの避難につなげる

大雨が降り始めたら(大雨対策)

具体的に準備する

インターネットで情報収集 日頃からサイトに慣れておく

床上浸水の恐れあり⇒1階から2階に家財道具を上げる

土のう・水のう・止水板を用意して 地下室には入らない



『登校時図上避難訓練』

学年学級の教職員で集まり、登校時図上訓練を実施しました。スクールバス登校便乗車中や自主通学者、自家用車による登校中に、大地震が発災したという想定で、児童生徒の通学状況について確認し、児童生徒が安全に避難できるようにするための方策を考えました。揺れが収まってからどのような避難になるのか、対応表や路線図から避難地を想定しました。ワークシートを用いて情報を整理し、学校はどのような初動体制になるのか話し合いました。また、地図上で居住地付近を確認し、津波や川の氾濫、山沿いのがけ崩れなど危険箇所などの情報を共有しました。



令和5年度 防災用品・防災薬 について

- ① 学期末に、**防災薬の持ち帰り**をします。チェックしていただき、学期始めに持たせてください。
- ② **防災用非常食の点検・補充は、2学期はじめ・面談期間に行います**
- ③ 夏季休業中の寝袋・防災頭巾、ヘルメットの持ち帰りは行いません。学校で虫干しします。

